



安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第11号

きらきら Eyeランド

JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

**刈取りがスタートします！
圃場をよく観察し、適期の刈取りを！**

今年は8月1日の梅雨明け以後、平年より気温が高く推移しており、特に最低気温が高い状況が続いています。管内生育診断圃の8月27日時点での登熟歩合は、はえぬきで51.1%、雪若丸で49.4%、つや姫で35.1%と進んでおります。積算気温を用いた刈取り適期は平年よりも早くなる見込みです。(表2)

刈り遅れは品質に著しく影響を及ぼします。積算気温を参考に、圃場全体を観察して枝梗の黄化や青糲歩合、糲水分をチェックし、総合的に判断して刈遅れのないように注意しましょう。

7月25日の大雨により浸水、冠水被害を受けた圃場では品質低下が懸念されますので、調製作業はよく観察しながら行いましょう。

〔表1〕 出穂期・収量構成要素の状況 (生育診断圃)

品 種	項 目	出穂期 (月日)	止葉 (枚)	㎡当穂数 (本/㎡)	1穂糲数 (粒)	㎡当糲数 (粒)	穂揃期の 葉色 (SPAD)
はえぬき (荻島)	R6年	8/2	12.4	554	69.1	38,300	35.7
	平年比	±0日	-0.2	103%	104%	107%	-1.4
つや姫 (漆曾根)	R6年	8/7	12.8	443	73.5	32,600	36.7
	平年比	-2日	+0.1	97%	101%	98%	+2.3
雪若丸 (前川)	R6年	8/3	13.4	618	55.6	34,400	36.1
	平年比	±0日	+0.7	102%	91%	93%	-1.3

技、其の一 刈取り前の圃場準備

出穂後の高温により登熟が順調に進み、既に刈場に入っている圃場があります。早急に準備を行い刈取り作業に入りましょう。

近年、一部圃場に雑草のクサネムが見られます。この黒い種子が玄米に混入すると選別機では除去されず、等級格下げの原因になります。発生している圃場では、刈取り前に抜き取りましょう。

技、其の二 適期刈取りの目安

今年の出穂期は中生品種で平年並み、つや姫は平年よりも2日程度早くなりました。出穂後の高温により登熟が平年よりも早く進んでいます。刈取り開始の判断は、積算気温を参考に、枝梗の黄化、青糲歩合、糲水分を見て総合的に判断し、適期内に刈取りできるように計画を立てましょう。

〔表2〕【平坦地域刈取り適期の目安】(酒田アメダス値を利用 9/2まで実測値)

品 種	項 目	出穂期 (中心日)	出穂後の積算温度による今年の刈取り適期				
			9/5	9/10	9/15	9/20	9/25
はえぬき 雪若丸		8/3	9/6(9/8)				
ひとめぼれ		8/3	9/8				
つや姫		8/7	9/13(9/15)				

※「はえぬき」「つや姫」は高温年により、積算気温の範囲を50℃前倒しとする。()内は通常年。
※酒田アメダス値を利用 9/2まで実測値。9/3~9/26は予測値(気象庁の2週間気温予報及び1か月予報の確率予測資料による平年差を用いて算出)、以降平年値を用いて積算したもの

【刈取り開始時期の判断項目】

- ① 1穂の糲水分測定による判断…糲水分25%以下が刈取り開始時期で23%が適期!!
平均的な1穂の糲を全部脱粒し、青糲と混合して水分検定器(もみ測定に設定)で数回測定する。
- ② 1穂の青糲歩合による判断…20~15%の青糲歩合で刈取り開始

品 種	青糲歩合	糲水分
ひとめぼれ・つや姫	15%	25%
はえぬき・雪若丸	20%	25%

技、其の三 刈取り・乾燥・調製作業の留意点

- ① 刈取った糲はヤケ米の発生を防ぐため、速やかに(収穫後2時間以内)乾燥作業を行いましょう。
- ② 刈遅れは、胴割粒・着色粒の増加、玄米光沢の低下等、品質に著しく影響します。特に周辺より早めに出穂した圃場は、優先的に刈取りを行いましょう。(特に、つや姫は刈遅れると茶米が発生する恐れがありますので、刈遅れないよう刈取り時期の調整をしましょう。)
- ③ 糲の急激な乾燥は胴割粒の発生を助長します。二段乾燥を励行し丁寧な乾燥・糲摺作業を行いましょう。
- ④ 適正水分は玄米で14.5~15.0%です。水分の戻りがないよう注意しましょう。
- ⑤ 近年アラ(糲殻)混入が目立っています。今一度ロールの調整・確認を行ないましょう。

技、其の四 混米(異品種混入)防止の徹底を！！

収穫・調製における品種の切替え時には、コンバイン・乾燥機・籾摺機の清掃記録をつけるなど混米防止に努めましょう。(清掃時には最初に必ず機械のエンジン・動力を停止し、その後、惰性なく確実に停止していることを確認してから作業に入る)

共乾施設では、複数の生産者の籾が搬入されるため、一人の生産者のミスが他の多くの生産者に迷惑をかける事となります。刈取り搬入(特に刈取委託の場合)の際は、事前に刈取り圃場の品種、各施設の刈取り計画(月日、品種)を必ず確認しましょう。
※JAグループでは信頼される商品をお届けするため、出荷前のDNA検査に取り組んでいます。

大豆の管理について

★大型雑草の除去は早めをお願いします！

一部に大型雑草やイヌホオズキなど汚損粒の原因となる雑草も見受けられます。現在の刈取り開始時期の目安は下表の通りですが、播種時期が遅いものは収穫時期も遅くなる場合がありますので圃場を確認して判断願います。

令和6年産 大豆の刈取り開始の目安(成熟期+7日で試算)

品 種	エンレイ	里のほほえみ
開 花 期	7月23日中心	7月25日中心
刈取り開始時期	10月7日頃	10月15日頃

※あくまでも目安です。今後の天候で落葉・成熟が早まることもあります。

★ 秋季農作業事故防止強化期間 (9月1日～10月31日)

9月～10月は水稻の収穫時期を迎え、コンバインなどの大型農機を扱うため、春に次いで農作業事故が多くなる時期です。

作業を焦り、農作業事故が発生することの無いよう、ゆとりある作業計画を立て、事前に整備・点検し、機械の操作は慎重に行いましょう。



米生産履歴記録書の提出について

現在、米生産履歴記録書によりJA米要件を確認しております。

未提出の方は、最寄りの営農課まで提出下さるよう、お願いいたします。

適期刈取りの強い味方！

『スマートつや姫』を使ってみましょう！！

「つや姫」の刈取開始・晩限が圃場ごとに色別で表示！
高品質米を刈取りたい、刈取のタイミングが分からない・・・
⇒ぜひ「スマートつや姫」を活用ください！！



適期刈取りマップ イメージ



問合せ先:
最寄りのJA又は
酒田農業技術普及課

↑アクセスはこちら



園芸情報



水稻育苗ハウスを利用したシャインマスカット栽培について

当JA管内で育苗ハウスを利用したシャインマスカット栽培が盛んに行われております。今回は定植1年目の栽培管理を紹介いたします。

定植1年目の管理

○定植

12月～2月に定植をします。縦横30cm程度の植穴を掘り、堆肥5kg、苦土石灰500g、BMようりん500gを混和し、接木部が土中に沈まないように定植します。

定植後、3芽部分で苗木を切り詰めます。(2芽残す)

※植穴を掘った際に、水が染み出してくる圃場では、植穴を空けずに土盛りをして定植します。

○春～夏

・生育の良い新梢を2本残して他の芽を欠きます。展葉5～6枚時に、強い方の新梢1本に整理します。主幹延長枝は支柱に誘引して真っすぐ伸ばします。

・副梢は2～3葉で摘芯します。巻きひげは除去します。

○秋(剪定)

・落葉を確認したら、剪定を行います。

・樹冠の拡大を急いで、芽数を多く(20芽以上)とると、樹勢が弱まり、翌年の新梢生育が不揃いになりやすいので、1年に10～15芽を目安に主枝を切り戻します。

・副梢を残しておくとも主芽が発生しにくくなるので、副梢の芽は残さないように基部まで切り戻します。

○芽傷処理

・萌芽は良い品種ではありますが、3月上旬までの樹液が流れ出す前に、芽傷を入れると芽が吹き出しやすくなります。

・芽傷は芽の先5mmの位置に、芽傷ばさみ等を使って、2～3mm程度の深さに切り込みを入れます。

今回は定植1年目の管理を紹介いたしましたが、当JAぶどう出荷組合では月1回程度の栽培講習会を開催し、栽培技術の向上を図っています。

シャインマスカット栽培に興味のある方は最寄りの園芸センターにお問合せください。

★次号の発行は10月10日です。